二〇一六年一一月一八日

お下がりのスーツだぶだぶ七五三　なつき
屋敷門潜るや否や菊薫る　せいじ
主まつ老犬の背に紅葉散る　せいじ
池囲む有刺鉄線鵙の贄　豆狸
池小春メタボの鯉の大吐息　満天

二〇一六年一一月一七日

大半を失せ物探し日短　明日香
裾分けのお菜一品あたたかし　はく子
冬支度了へて安堵のティータイム　まゆ
錦繍の山懐に修道院　はく子

二〇一六年一一月一六日

修道院祈りの道の石蕗明かり　こすもす
鵙日和信長塀を婚の列　なつき

二〇一六年一一月一五日

神迎え氏子ら総出斎庭掃く　菜々
カリヨンの楽に舞ふごと紅葉散る　満天
深秋の里のをちこち畠煙　まゆ

二〇一六年一一月一四日

風呂吹や昭和一桁好々爺　三刀
大岩の襷がけなる蔦もみじ　よし女
山頭火偲べと句碑に時雨けり　ともえ
露天湯に浸りて愛づる渓紅葉　やよい
千歳飴振る子に鯉の集まれり　なつき

二〇一六年一一月一三日

参道に嵩なすいてふ落葉かな　隆松
門前に懸崖菊立つ老舗宿　たか子
風意地悪掻きし落葉をまた散らす　たか子
玉砂利に足な取られそ千歳飴　明日香
立枯れの直立したる冬の湖　智恵子
田仕舞の煙隠れに一両車　有香
わが肩にとどまらずして紅葉散る　あさこ
庭小春長寿体操教はりぬ　やよい

二〇一六年一一月一二日

たたづめば瀬音高鳴る紅葉谿　あさこ
一樹にしてグラデーションなす紅葉かな　なおこ
冬ぬくし震災復興アーケード　なつき
腰かける石温かき小春かな　豆狸
水の面を駈くるごとくに鴨翔ちぬ　さつき
青々と大根太る干拓地　よし女

毎日句会みのる選・二〇一六年一一月二〇日